

▶ スコアボード ◀

第93回天皇杯サッカー全日本選手権大会  
 横浜F・マリノス  
 準々決勝 12月22日(日) 13:00 vs大分 大銀ドーム  
 準決勝 12月29日(日) 13:05 鳥栖vs川崎の勝者 日産スタジアム  
 決勝 1月1日(水) 14:00 国立  
 第39回横浜少年サッカー大会 (市長杯)  
 2014年1月4日(土) 開会式 横浜スタジアム



発行 一般社団法人横浜サッカー協会  
 編集 同 広報委員会  
 〒220-0012 横浜市西区  
 みなとみらい6-2-1  
 TEL(045)662-4315 FAX663-5800  
 http://www.yokohama-fa.or.jp  
 印刷 神奈川新聞社  
 〒231-8445 横浜市中区  
 太田町2-23  
 TEL227-0808 FAX227-0785

# 2020東京オリンピックに期待

## 新たな感動を横浜でも

2020年のオリンピック・パラリンピック委員会(IOC)総会がアルゼンチンのブエノスアイレスで9月7日(日本時間8日未明)に行われ、「東京」が開催都市に選出された。

東京でのオリンピック開催は1964年以来56年ぶり2回目となる。

1964年大会では横浜でもサッカーが三ツ沢球技場で、バレーボール・バスケットボールが横浜文化体育館でそれぞれ行われた実績をもつ。オリンピック開催にともなう経済効果は約3兆円といわれているが、やはり私たちが願うのは東日本大震災で被災者の痛みや、近年特に顕著

さらには、ハンディを持った人に優しいバリアフリー社会への道のりも加速することが期待される。そして国際化も

一層促進される。何よりも、スポーツ基本法にうたわれている誰でも、どこでも、いつでもスポーツに親しめる環境を整えられれば、東京やその外郭都市でオリンピックが開催されることに、さらに大きな意義が見出されるはずである。今までもすぶっていた「スポーツ省」のありかたも具体化されるであろう。

横浜も、1964年に受けた感動と環境整備を、もう一度新たに2020年へ導きたいものだ。

## 緑区選抜が初優勝

### 第16回区選抜少年サッカー大会

第16回横浜市区選抜少年サッカー大会(横浜F・マリノス杯)が9月14日よりマリノスタウン他市内グラウンド

で行われた。また、今大会は、台風の影響によりトーナメント方式に変更され開催された。この大会は18区の選抜チ



## “横浜シニア60”が健闘 高知県 ねんりんピックに参加

60歳以上を対象とした「全国健康福祉祭」愛称「ねんりんピック」が今年高知県で開催された。第26回大会となる今大会に横浜市選手団として、サッカー協会に登録されている各シニアチームの所属メンバー有志による混成チームを結成して臨んだ(チーム名は横浜シニア60)。

当大会では参加チームをブロックに分け、各ブロック4チームによるリーグ戦方式で行われ、横浜市は神戸市・名古屋市・鳥取県とのグループによる試合を行った。

1日目は鳥取県チームとの対戦で、前半・後半ともに得

## SCH・FC(泉区)が栄冠

### 第10回NHK杯少年サッカー大会

第10回NHK杯8人制少年サッカー大会兼県大会横浜予選(NHK横浜放送局、横浜サッカー協会共催)が8月31日、9月1日の2日間にわたり、みなとみらいスポーツパークで行われた。

この大会は、18区の5年生の代表チームによる8人制の

大会の出場権を獲得した。決勝・緑区0-0青葉区(4PK2)

大会で、12月に行われる県大会の横浜市代表を決める予選会を兼ねている。

1日目は3チーム6ブロックで予選リーグを行い、上位1チームが準決勝リーグ、順位決定戦へ進出した。2日目に準決勝リーグ、各1位で決勝戦、各2位で3位決定戦、各

点して、2-0にて快勝したが、2日目の第1戦では、元日本代表選手を擁する強豪・神戸に対して、試合の立ち上がりから不安定な動きが目立ち、前半1・後半2と得点を許し、完敗であった。

続く第2戦では、前日その神戸を1点差で勝利した名古屋を相手にやや押し気味に試合を運んだが、決定機にゴールを決め切れず、スコアレスドローに終わった。

結果は①神戸(2勝1敗) ②名古屋(1勝0敗2分) ③横浜(1勝1敗1分) ④鳥取(0勝2敗1分)で横浜市は3位でした。



3位で5位決定戦が行われた。決勝戦はSCH・FC(泉区)とあざみ野FC(青葉区)がPK戦にもつれ込む熱戦を繰り広げ、0-0(3PK2)でSCH・FCが優勝した。

この結果、SCH・FCが横浜市第1代表として、あざみ野FCは第2代表として県大会の出場権を獲得した。

(結果)

優勝・SCH・FC(泉区)  
 準優勝・あざみ野FC(青葉区)  
 3位・横浜FマリノスPr(西区)  
 4位・パディーSC(南区)  
 5位・YSC

## ハーftime

さる10月、64・68五輪代表で68年には銅メダルとフェアープレイトローフィーを獲得し三菱重工サッカー部でも主将・DFとして活躍した片山洋さんとお話する機会を得た。とくに2020年東京五輪が決まった直後だったので、64東京五輪当時のお話や2020年への期待などが聞けてとても貴重な時間を過ごせた。

戦後、50年代後半から今のようになり便利ではない時代に、年に何度も海外に出て1ドル365円の価値を体感したことや、手足が長く背の高い外国人を相手にどう対処するのかと悩んだこと。名コーチ、デットマール・クラマー氏と過ごしたトレーニングや試合の日々の思い出など、2020年に東京五輪を迎えるに当たり大変貴重なお話をいただいた。また「第1回横浜国際チビッコサッカー大会」(於三ツ沢球技場)のゲスト講師だったことも初めて知った。これらのお話は来年の「Breeze」で順次ご紹介したい。(飛)

2013年 主な行事		
1月5日	市長杯横浜少年サッカー大会開催式	【横浜スタジアム】
6日	初の少女サッカー教室	【横浜スタジアム】
2月3日	シニアマスターズ大会決勝戦	【ニッパツ三ツ沢】
17日	日産スタジアム杯	【日産フィールド小机】
	優勝 小学生の部 戸塚区選抜 中学生の部 川和中学校	
2月24日	新横浜インターナショナルフットサル交流会	【しんよこF.P】
3月3日	市長杯横浜少年サッカー大会決勝戦	
	優勝 横浜F・マリノスプライマリー	
20日	第23回横浜少女サッカー大会	【玄海田公園】
	優勝 すずき野レディース	
4月14日	第40回横浜市春季少年サッカー大会開催	
5月	平成25年度市民大会(社会人)スタート(平成26年3月まで) 平成25年度市民リーグ(同)スタート( ) 平成25年度マスターズ(シニア)スタート( )	
6月29日	スーパーキッズゲーム開催	【MMS.P】
7月7日	春季少年サッカー大会決勝戦	
	優勝 Lの部 横浜F・マリノスプライマリー LLの部 パディーSC SLの部 パディーSC-S	
7月27~29日	シニアチームが訪韓	
8月3、4日	第6回ビーチサッカー大会	【金沢海の公園】
8月10、17日	第52回日朝親善サッカー大会開催	【三ツ沢陸上】
8月31、9月1日	第10回NHK杯8人制少年サッカー大会開催【MMS.P】	
	優勝 SCH・FC	
9月7日	第21回カトリア杯少女サッカー大会	【玄海田公園】
	優勝 SHガールズ	
9月14日	国際チビッコサッカー大会開幕(12月まで)	【MMS.P】
14日~22日	スーパーキッズゲーム開催	【マリノスタウン】
	優勝 緑区選抜	
10月25~28日	シニア選抜 ねんりんピックに参加	【高知県】
11月3日	市長旗争奪ジュニアサッカー大会決勝戦	
	優勝 YSCC	
12月14、15日	横浜招待少年サッカー大会【マリノスタウン・MMS.P】	

# YSCCが初の栄冠

## 第48回横浜市長旗争奪ジュニア大会

平成25年度・第48回横浜市長旗争奪ジュニアサッカー大会は、10月20日から決勝トーナメント戦が始まり、11月4日に決勝戦を行い、幕を閉じた。



この横浜市長旗争奪ジュニアサッカー大会は、横浜市中学校体育連盟に所属する中学校クラブチームと、市内のクラブチームが一堂に会して行う大会で、各区の予選大会を

勝ち抜いてきた区の代表チーム・18チームに推薦チーム・1チームを入れ、19チームによる決勝トーナメント戦を行った。

11月3日に行われた決勝戦は、昨年につづきYSCC(中区)対横浜F・マリノス(西区)のクラブチーム同士の対戦となり、2対2のままPK戦となり、8対7でYSCCが横浜市長旗を争奪した。第三位は、SCH、FC(泉区)、ジュニオール(戸塚区)

### 暑さの中、元気にキッズ大会

#### 48チーム、530名が参加

9月14日(土)、真夏を思わせるような暑さの中、2013 YFA スーパーキッズゲーム Go! 17 in トリコロパークが、しんよこフットボールパークと、日産フィールド小机で開催された。今年度2回目の開催で、48チーム、530人の元気なキッズたちが参加した。それぞれの会場6面を使用し、

## 『Jリーグ20年と横浜サッカー』

(下)

元共同通信社  
元W杯組織委員会広報報道部長  
小山敏昭

1993年、日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)が誕生して今年で20年。その間に横浜とJリーグの間にはいろいろなエピソードがあった。前回は続いて今回は横浜にやってくる世界の選手たちを紹介してみよう。

Jリーグの発足に当って、各クラブがどのような外国人選手を集めるかが話題となった。実際に開幕をけるとJリーグ10チーム全体で15カ国、54選手が参加した。ブラジルからはジーコ(鹿島)イングランドからワールドカップの得点王、リネカー(名古屋)ドイツからはリトバルス

## 多くの外国選手が横浜に

チ、ゴロシト、アコスタとアルゼンチン勢が入り、横浜フリーゲルズにはサンパオ、エバール、ジーニョらワールドカップ出場経験を持つブラジル勢が名を連ねた。Jスタート直後は南米の秀才テクニクとパスワークにサポーターも魅了されたものだった。

その後98年ころから横浜マリノスは南米路線から欧州に目を向け、スペインからサリナス(97、98年)ゴイコエチュア(98年)、ユーゴからベドロビッチ(97、98年)が、横浜フリーゲルズもロシアからレディアコフ(98年)ポルトガルからフットレ(98年)が加わり、世界のそうそうたる選手が日本のグラウンドを走り回った。現在まで横浜マリノスは36人、横浜フリー

## 横浜F・マリノス ジュニア、プライマリーが活躍



サポーターから大声援が送られていた。次回は平成26年2月、MMスポーツパークで開催予定である。

### SHガールズが制覇

#### 第21回カトレア杯少女サッカー大会

第21回カトレア杯少女サッカー大会は、9月7日に玄海田公園運動広場において開催。同大会は10チームが参加

は横浜Fマリノスには安貞垣(04、05年)が、その後長身の金根煥(08、09、11年)丁東浩(09年)が加入した。横浜FCにも多くの韓国選手が在籍したが、Jリーグの初期のころは韓国代表クラスの来日者が多かった。最近ではJリーグの各チームで鍛えられて経験を積み韓国代表になる選手もいる。

▽横浜からの輸出はわずか5人

Jリーグ開幕から20年、日本から海外、特に欧州クラブに移籍する選手は多く、若手が積極的に海外へ行っている。Jリーグでは93年に名古屋の小倉隆史(オランダ・エクスセルシオール)が最初で、読売のカズこと三浦和良は94年にイタリア・ジェノアに、平塚の中田英寿はイタリア・ペルージャに移籍した。ところが世界的な輸出港である横浜港を持つ横浜市からはわずか5人である。97年に

## D級コーチ養成講習会開く

### 40名が参加

日本サッカー協会公認のD級コーチ養成講習会(協力・横浜サッカー協会)が11月2日、3日の二日間にわたり、横浜みなとみらいスポーツパークで行われた。このD級コーチ養成講習会

マリノス・ユースとマリノス・ジュニアユース(写真上)の活躍は前号でお伝えしたが今度はマリノスプライマリーU-12(写真下)がU-12のW杯といわれるダノンネーションズカップがサッカーの母国イングランドで行われ見事3位に入賞した。またチームは、フェアプレー賞を受賞しFWの佐藤宇君がベストプレイヤーに選出された。西谷監督は「32か国32チームが集まる大会はほかにない。世界中の子供たちがサッカーを通じて仲良くなれるのは本当に素晴らしいこと。」と語った。

は、地域においてスポーツ活動を実施しているクラブやスポーツ教室で実際に指導にあたりつつある指導者や、これから指導者になろうとする者を対象としたもの。今回は40名が参加、講義、実技のカリキュラムを受講した。

### 法人会 員 一 覧

横浜マリノス(株)	(株) 横浜シミズ
神奈川新聞社	(株) 横浜食品開発
	JFE東日本ジーエス(株)
	(有) マルイシエ芸
	(株) 横浜アーチスト